

燕市西蒲原郡 学校保健部 研究報告

燕市立吉田南小学校 山口 玲子

1 研究主題

生きる力を育む健康教育活動

2 研究の概要

- (1) 第1回 <指導案検討会> 期日：8月18日(木) 会場：燕中等教育学校
「毎日の生活と健康」 体育科(保健)学習指導案検討

①成果

- 事前に作成された指導案を基に、多くの意見を出し合うことができ、有意義な会となった。
- 担任と養護教諭のT、Tで行うため、教師二人の誰が、どこで、何をしているのか指導案に記述すること。睡眠の専門的な部分を養護教諭が説明する場合、グラフの読み取りは3年生の児童には難しく、インパクトのある具体物を資料として提示することなど、分かりやすい指導案になるよう検討することができた。

- (2) 第2回<授業研究> 期日：11月30日(水) 会場：松長小学校
「毎日の生活と健康」

授業者： 教諭 落合義貴 ・ 養護教諭 小林留美

指導者： 中越教育事務所 指導主事 村山真理子先生

①授業の概要

- 健康な毎日を過ごすには、どうしたらよいかグループで話し合い、食事・運動・休養および睡眠の調和のとれた生活が必要であることを知らせた。自分の生活を振り返り、問題点をみつけ、自分で考えた課題や解決策を一週間家庭で取り組めるようにした。



②成果

- 積極的にグループ活動に取り組み、真剣に話を聞く児童の姿が素晴らしかった。
- 自分の生活の振り返りを記述させた際、担任が児童一人ひとりの健康状況をしっかりと把握していたため、個に応じた声かけや助言ができ、T、Tのよさが再認識できた。
- 「脳の働きのうちわ」や「成長ホルモンのプレゼント」の教材は、デジタルではなく、手作りだったこともあり、分かりやすく児童の反応がよかった。しかし、教材を説明後も掲示しておくこと、児童が自己の課題や解決策を考える時に、有効だったのでないかと考える。
- 保健学習は保健教育の中核であるため、児童に「分かる」「考える」保健学習を行えるよう、指導する側が、保健学習と保健指導の違いをしっかりと理解することが大切である。さらに、児童が学んだことを生かすことができるよう指導することが必要であると学んだ。

